

<課題>

① 新入社員等若年労働者の育成

若年労働者の確保が困難な中、新規学卒者等を計画的に育成し職場の中核人材に育てていきたい

こんなとき

<助成金を活用した人材育成の実施>

キャリア形成促進助成金「ものづくり人材育成訓練」が活用できます！

○建設業や製造業の企業等が新入社員等（15歳以上45歳未満）に対して、社内で行うOJTと、社内又は社外で行うoff-JTを組み合わせた訓練（認定実習併用職業訓練）を以下のいずれかの訓練型で実施

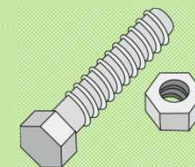
- ① **企業単独型**（企業がoff-JT及びOJTを実施）
- ② **企業連携型**（出向元企業が出向先企業と連携して、off-JT及びOJTを実施）
- ③ **事業主団体等連携型**（事業主団体等と企業が連携して、off-JT及びOJTを実施）

※ 6か月以上2年以下（1年当たり850時間以上）の訓練

※ OJTは訓練時間のうち2割以上8割以下

⇒off-JT《一人当たり》経費助成 2/3(1/2) 賃金助成 800円(400円)/h

OJT《一人当たり》実施助成 700円(400円)/h ※（ ）内は大企業の助成額



<ねじ製造企業が「企業単独型訓練」を活用するケース>



○実施例：ねじ製造部門で雇い入れた新入社員等（2名）に対する研修（Off-JT+OJT）を事業内で実施。

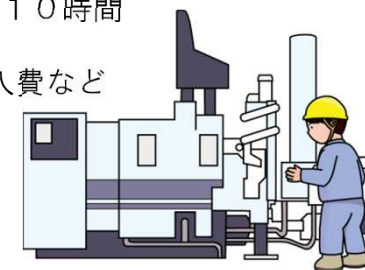
○訓練期間（総訓練時間）：6か月（430時間）、うち、Off-JT120時間、OJT310時間

○経費見積もり：20日間（1日6時間）実施で総経費が80万円の場合

※経費の内訳例としては、社外の講師への謝金、座学訓練に必要な教科書等の購入費など

○助成額（中小企業） 計：115.9万円

経費助成 53.3万円 賃金助成 19.2万円 OJT実施助成 43.4万円



<課題>

こんなとき

② 技能・技術の伝承

ベテラン技能者の高齢化が進む一方で、若手を指導できる立場の人材が不足しており、技能の伝承ができにくい環境になりつつある。後継者へ技能・技術の承継できる人材を確保したい。

<助成金を活用した人材育成の実施>

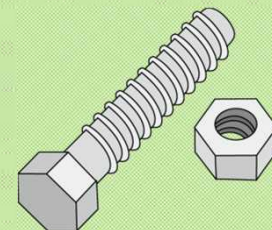
キャリア形成促進助成金「熟練技能育成・承継コース」が活用できます！

- 雇用する熟練技能者に対し、技能者育成のための指導力を強化する訓練を実施
- 雇用する労働者に対して、社内外の熟練技能者の指導により技能を承継するための訓練を実施（認定職業訓練によるものを含む）

⇒外部機関が実施する教育訓練や社内で行うoff-JTにより実施（1コース20時間以上）
《一人当たり》経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円(400円)/h

※（ ）内は大企業の助成額

※ 熟練技能者：技能士1級技能検定等の合格者、職業訓練指導員、自治体等が認定しているマイスターなど一定の要件あり



<ねじ製造企業が「熟練技能育成・承継コース」を活用するケース>

○実施例

ねじ製造部門（切削加工、熱処理、表面処理など）の現場管理者等（熟練技能者）の指導力、部下育成力の向上のため、外部機関の講習（Off-JT）を活用した職業訓練を実施。

受講訓練：〇〇職業能力開発協会「監督者指導力強化セミナー」（20時間）受講料32,000円／人

受講内容：課題解決スキルや部下指導力向上のためのコミュニケーションスキルを習得し、生産現場における指導力・監督力の向上を目指す。

訓練期間：4日間（20時間）

助成額（中小企業）：受講者一人あたり経費助成16,000円、賃金助成16,000円



<課題>

こんなとき

③海外展開への対応

生産拠点のグローバル化や、取引の開拓・拡大に対応するため、今後海外展開を検討しているが、中小企業には海外に派遣して一線で活躍できる人材はいない。

<助成金を活用した人材育成の実施>

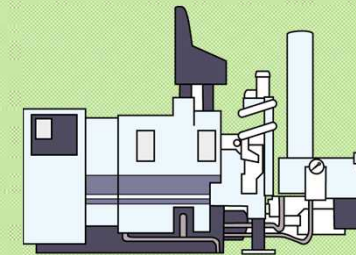
キャリア形成促進助成金「グローバル人材育成コース」が活用できます！

- 海外事業拠点への赴任に当たり、語学、商習慣や関係法規、文化理解等の講座を受講
- 提携・販売などの契約業務に従事する労働者が国際法務、国際契約の講座を受講
- 海外の大学院、大学、教育訓練施設で行う訓練も助成対象

⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施（1コース20時間以上。海外の大学等で実施する場合は30時間）

《一人当たり》 経費助成 1/2(1/3) 賃金助成 800円(400円/h)

※（ ）内は大企業の助成額



<ねじ製造企業が「グローバル人材育成コース」を活用するケース>

○実施例

マーケットが拡大している中国やインド、アセアン地域に進出を検討しているねじ製造の中小企業が、その中核となる人材を育成するため、外部機関の研修（Off-JT）を活用した職業訓練を実施。

受講訓練： 中小企業大学校 「海外展開事業管理者研修」（36時間） 受講料75,000円／人

受講内容： 海外展開を図る上でのキーパーソンとなる人材に必須な貿易実務、国際契約、海外顧客へのセールストーク等の基礎を学ぶとともに、直接投資事業の進め方などの知識を習得する。

訓練期間： 9日間（36時間）

助成額（中小企業）： 受講者一人あたり経費助成 37,500円、賃金助成 28,800円



<課題>

④多能工の育成

中小・零細企業では人員が限られるため、生産・加工工程だけでなく、機械の保全・修繕までできる多能工の育成が求められる。

こんなとき

<助成金を活用した人材育成の実施>

キャリア形成促進助成金「一般型訓練」が活用できます！

○中小企業が行う「政策課題型訓練」以外の訓練を実施する場合に活用が可能。

⇒ 外部機関が実施する教育訓練や社内で行うOff-JTにより実施（1コース20時間以上）
《一人当たり》 経費助成 1/3 賃金助成 400円/h



<ねじ製造企業が「一般型訓練」を活用するケース>

○実施例

少量多品種かつ短納期の受注に対応している中小・零細企業が、限られた人員の中で製造から品質管理、機械の保全、修繕まで幅広く対応できるよう、多能工育成の一環として、中堅フォーマー工や転造工に機械の電気保全技術の習得のため、外部機関の研修（Off-JT）を活用した職業訓練を実施。

受講訓練： ○○ポリテクセンター「機械の電気保全」 受講料20,000円/人

受講内容： 運転回路の保守・点検、電動機制御等の電気保全にかかる関連技術を習得する。

訓練期間： 4日間（28時間）

助成額（中小企業）： 受講者一人あたり経費助成 10,000円、賃金助成 11,200円

